

「バックナンバーは「GUNMAS」および当センターHP (<http://mec.dept.showa.gunma-u.ac.jp/>) に掲載しています

地域医療研究・教育センター長ごあいさつ



村上センター長

日頃から地域医療研究・教育センターの運営にご協力いただきありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の拡大が続いて第4波が到来し、まん延防止等重点措置や緊急事態宣言が出される未曾有の事態となっています。COVID-19の診療、感染防止対策やワクチン接種などにおいては、地域における緊密な連携体制が大切です。

地域医療研究・教育センターは、医師・歯科医師・看護師をはじめとする医療スタッフの人材育成と地域連携に取り組んでおり、「臨床研修部門 (臨床研修センター)」、「スキルラボ部門」、「男女協働キャリア支援部門」、「看護師の特定行為研修部門 (看護師の特定行為研修センター)」、「看護職キャリア支援部門」、「地域医療支援部門 (地域医療支援センター・ぐんま医療人ネットワーク)」、「管理運営部門」からなります。

地域医療研究・教育センターの各部門で協力し、次世代を担う医療スタッフの育成とキャリア支援に取り組み、群馬県の地域医療の充実と発展に貢献して行く所存です。引き続きよろしくお願いいたします。

看護師の特定行為研修が始まりました！

看護師の特定行為研修部門からお知らせ

本院は令和3年2月に厚生労働大臣から看護師の特定行為研修指定研修機関に指定され、4月から研修を開始いたしました。

看護師が行う業務は、保健師助産師看護師法によって「療養上の世話又は診療の補助」と定められています。医師による診療は、医師のみしか実施できない「絶対的医行為」と、看護師が「診療の補助」として実施することができる「相対的医行為」に分類されますが、従来は両者の境界が厳密には規定されていませんでした。そこで、相対的医行為のうち高レベルな行為を明確に区別し、「特定行為」として位置付けました。その特定行為とは、21区分38行為であり、この行為を実践するための必要な高度知識と技術を指定機関で学び修了認定を受けた看護師は「特定看護師」などと呼ばれることもあります。研修カリキュラムは「共通科目 (315時間)」と「区分別科目」で構成されていて、後者は特定行為区分 (38の特定行為を21の区分に分けたもの) 単位で受講できます。特定行為は、あらかじめ「医師の包括的な指示」を受けた看護師が「手順書」に基づいて実施することになります。手順書は特定行為の実施上の指針となるもので、対象となる患者や病状の範囲、特定行為の内容、指導医への報告の方法などが盛り込まれています。

迅速かつタイムリーな判断が求められる救命救急センターや周術期医療で看護師と医師両方の視点を持って患者さんに貢献することが期待されています。本院の看護師の方で、特定行為研修に関する概要や本院で開講している特定行為区分については看護師の特定行為研修センターへ、特定行為研修の受講に関しては所属の看護師長に相談してください。



各部門からの報告

臨床研修部門

桜舞う季節の中、臨床研修医（16期生（8名））・臨床研修歯科医（14期生（2名））合計10名が、おかげさまで、無事初期研修を修了することができました。昨年来のコロナ対応の中、研修医の指導では、診療科の皆様にも例年以上のご配慮、ご支援をいただいております。この2年間の皆様からの手厚いご指導に、改めて心より御礼申し上げます。



令和3年度採用 臨床研修医・臨床研修歯科医のみなさん

4月から、それぞれの専門分野の専攻医、歯科医師として新たな一歩を踏み出した

彼らに、これからも温かいご支援をいただけますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

そして、今年度は新たに医科18期生（17名）、歯科16期生（3名）の計20名の新研修医が、群大病院のプログラムで研修を開始しました。出身地、出身大学なども様々で、明るくフレッシュな20名です！コロナ時代の真ただ中で、以前と比べて交流の機会も限られてしまう部分もあるかと思いますが、是非気軽に声をかけていただき、折に触れてご指導いただければ幸いです。臨床研修センタースタッフ共々、今年度もどうぞよろしくお願いいたします！！

地域医療支援部門

例年、1年間を通じてさまざま説明会、交流会、病院体験セミナーを企画していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から多くの企画が開催できずにいます。大学生活や卒後の医師としての勤務について、情報共有の場を設定することで、少しでも不安や迷いを解消し、充実した学生生活、医師としてのキャリアを積んでほしいと願っています。

対面で直接お会いすることはできませんが、オンラインによる情報配信、情報交換の場を企画、開催しています。

これからも群馬県地域医療支援センターでは、群馬県の地域医療を担いそのリーダーとして活躍していく若手の先生方を全力で応援していきます。



地域医療卒学生Web報告会（2021/4/23開催）の様子

看護職キャリア支援部門

看護部キャリア支援部門では、主に看護職の研修企画・運営、地域看護職の研修支援等、看護職の実践能力向上を支援しています。昨年度はCovid-19 感染拡大の影響で十分な実技演習ができませんでしたが、改めてシミュレーター等を用いた実技演習の重要性を認識した年でもありました。今年度は新人看護職員49名を迎え、スキルラボセンターにて吸引、静脈注射、採血、BLS、緊急時の看護などの演習をとりいれた研修を、感染対策に配慮し計画しています。

また、群馬県看護協会から委託を受け、看護職再就業支援研修を毎年行っております。この研修は看護職経験が少ないなど、離職して何年も経っている等の理由で再就職に不安のある未就業の看護職有資格者を対象としています。研修内容は、静脈注射、採血、BLS、輸液ポンプの使い方などです。平成30年度は52名、平成31年度は32名、昨年度はコロナの影響により人数と時間を制限し5名の参加がありました。参加者からは「学習することにより不安な気持ちが軽減した」「このような機会に感謝します」等の感想をいただき、引き続き支援を行う予定です。

＜今年度開催予定＞

令和3年7月29日（木）、8月24日（火）

11月15日（月）、12月13日（月）



令和2年度 看護技術フォロー研修より



看護職再就業支援研修の様子

各部門の直近活動予定について

	6月	7月	8月
臨床研修部門	21日:マッチングプログラム説明会	10日:歯科プログラム説明会 26日:歯科採用試験	5日,16日,22日:医科採用試験 7日:後期専門研修説明会 21日:歯科採用試験
看護職 キャリア支援部門	14,15日:新人心電図研修 26日:新人・指導者3ヶ月フォロー研修 29,30日:新人BLS研修	1日:IVインストラクター研修 7日:新人BLS研修 13,14,16日:リスクマネジメント研修 29日:群馬県看護力再開発講習会	19,21日:実習指導者研修 31日:新人静脈注射研修 24日:群馬県看護力再開発講習会
群馬県地域医療 支援センター	地域医療枠学生web座談会（1～5年生） 地域医療枠6年生面談、アンケート	地域枠医師個別web面談（卒後2,4年目） Gドクターズプロジェクト情報配信（高校生）	地域枠医師個別web面談（卒後6年目）
ぐんま医療人 ネットワーク	1日:医師数等実態調査・院内	医師数等実態調査・県内（未定）	ぐんま地域医療会議（未定）
看護師の 特定行為研修部門	7日:コアメンバー会議 14日:運営委員会	5日:コアメンバー会議 12日:運営委員会	6日:コアメンバー会議、研修管理委員会 23日:運営委員会

※（群馬大学）業務と育児の両立に関する託児等費用補助（令和3年度）について

学会出張などで託児サービスを利用した場合、その費用の一部を補助します。詳細は、群馬大学ダイバーシティ推進センターホームページ（<https://kyodo-sankaku.gunma-u.ac.jp/>）をご覧ください。

地域医療研究・教育センター新任の先生のご挨拶



池田 佳生 先生

副センター長(臨床研修センター長)

令和3年4月より臨床研修センター長を拝命いたしました。令和2年度より初期臨床研修に関する大幅な改正が実施され、特に臨床研修の到達目標、方略及び評価方法について明示され、ガイドラインに沿った指導が求められています。後期専門研修に関しても、新専門医制度に基づくプログラムの最初の修了認定も行われました。このような臨床研修をめぐる大きな変革にも柔軟に対応し、研修医・専攻医の皆様が安心して充実した研修ができるよう、各部署の皆様と協力しサポート体制を構築したいと思います。

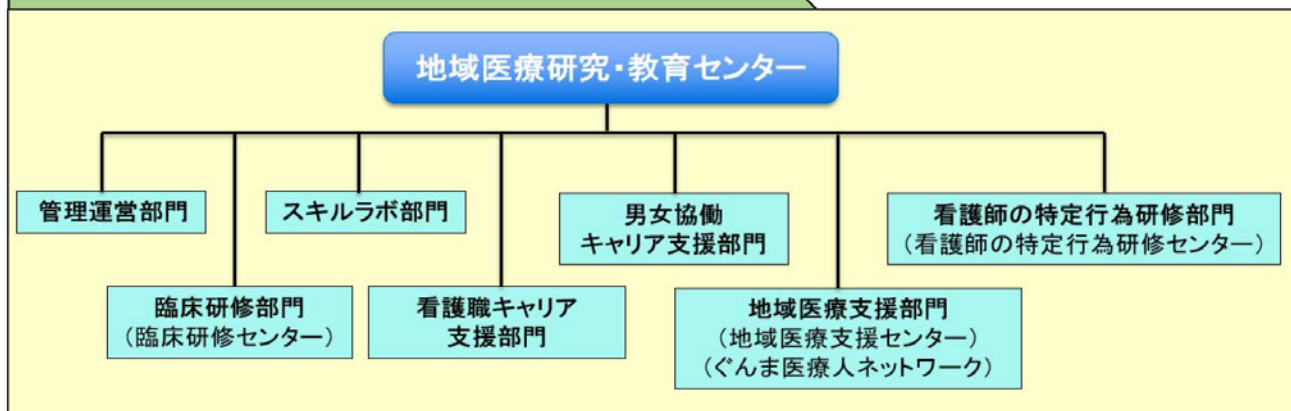
スキルラボ部門

今年度より地域医療研究・教育センタースキルラボ部門の助教に就任致しました、総合外科学消化管外科の栗山健吾と申します。出身は埼玉県で、群馬県は大学生になってからですが、いよいよ群馬県での在住期間の方が長くなってきました。群馬県の地域医療を盛り上げていければと思っています。主に群馬手術手技研修センターの運営、御遺体を用いたサージカルトレーニングに携わせていただきます。関係各所の皆様方のご協力をいただきながら、円滑な運営ができますよう精進して参ります。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



栗山 健吾 先生

地域医療研究・教育センター 2021年度の体制です



◆地域医療研究・教育センター

センター長	村上 正巳
副センター長	池田 佳生、今井 裕子
臨床研修部門	池田 佳生 (臨床研修センター長)
	菊地 麻美 (部門責任者・副センター長)
スキルラボ部門	田中 和美 (部門責任者)、龍城 真衣子、栗山 健吾
男女協働キャリア支援部門	羽鳥 麗子 (部門責任者)
看護職キャリア支援部門	今井 裕子 (部門責任者)、小林 恵美
地域医療支援部門	(地域医療支援センター)
	羽鳥 麗子 (部門責任者)、土岐 明子
	(ぐんま医療人ネットワーク)
	荒木 祐樹
看護師の特定行為研修部門	調 憲 (看護師の特定行為研修センター長)
	大高 麻衣子 (部門責任者・副センター長)